



## Log Partition Monitoring の設定

---

Log Partition Monitoring は、次に示す設定済みのしきい値を使用して、1 台のサーバ（またはクラスター内のすべてのサーバ）上のログパーティションのディスク使用状況を 5 分ごとにモニタします。

- **LogPartitionLowWaterMarkExceeded** (ディスク使用率 %): ディスク使用率が指定のパーセンテージを超えると、LPM はすべてのアラーム メッセージを syslog に送信し、RTMT Alert Central にアラートを送信します。ログ ファイルを保存し、ディスク スペースを回復するには、RTMT で Trace & Log Central のオプションを使用できます。
- **LogPartitionHighWaterMarkExceeded** (ディスク使用率 %): ディスク使用率が指定のパーセンテージを超えると、LPM はすべてのアラーム メッセージを syslog に送信し、RTMT Alert Central にアラートを送信します。

## Log Partition Monitoring の有効化

Log Partition Monitoring を有効にするには、次の手順を実行します。

### 手順

- ステップ 1** Cisco Unified Presence Serviceability で、**[Tools]** > **[Control Center]** > **[Network Services]** の順に選択します。
  - ステップ 2** **[Servers]** ドロップダウン リスト ボックスから、ディスク使用状況をモニタする対象のサーバを選択し、**[Go]** をクリックします。
  - ステップ 3** **[Performance and Monitoring Services]** から、Cisco Log Partition Monitoring Tool (LPM) の状況を確認します。
  - ステップ 4** LPM が実行されていない場合は、Cisco LPM の横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**[Start]** ボタンをクリックします。
-

## Log Partition Monitoring の設定

Log Partitioning Monitoring を設定するには、Alert Central で、LogPartitionLowWaterMarkExceeded アラートおよび LogPartitionHighWaterMarkExceeded アラートのアラート プロパティを設定します。[P.8-4 の「アラートプロパティの設定」](#)を参照してください。

### 追加情報

[P.13-2 の「関連項目」](#)を参照してください。

## 関連項目

- 『Cisco Unified CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド』の「Log Partition Monitoring」
- RTMT のトレース収集とログ集中管理 (P.10-1)